

事業所における自己評価結果(公表)

評価年月日:令和 6年 6月 19日

公表:令和 6年 6月 28日

事業所名:きーぷの森

チェック項目	はい	いいえ	取組	問題や改善すべき点	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善目標又は改善計画
1 利用定員が指導員数等スペースとの関係で適切である	8	1	1	・学習の場が狭いと思うことがある		
2 職員の配置数は適切である	5	3	1	・職員数が足りないので、休みが自由に取れない ・休憩をとる時間がない ・職員数が足りないので、お休みの方がいると足りない人数ではあるのだから記録の時間等を考えたと感じている時がある ・職員に欠員がある時は、職員不足を感じる ・急な対応がある時、子どもの対応が早滞になることがある		職員のお休みの際は、ばーむとりーふで職員配置の助け合いをしています。改善を考えていきたいです。また、協力をお願いしたいと考えています。加えて、職員体制の見直しも検討していきたいです。
3 生活空間は、本人にわかりやすく構成された空間になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切に保たれている	9					
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごす環境になっているか。また、子どもの発達活動に合わせた空間となっている	9					
5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	8	1	1	・できる範囲では行っているが、時間が足りず十分ではない	・毎日振り返りを行っている	
6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9					
7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の作成を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果を保護者の評価及び改善の内容を、事業所の会報(ホームページ等)で公開している	8	1	1			今年度からの新しい職員は、事業所評価が今回初めての経験になるため、中身を知らせていきます。
8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	3			第三者による外部評価は、まだ受けておりません。
9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9					
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者とのニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	1	1	・客観的に分析するには適切なモニタリングが必要である ・現状では適切にできていないと書いている。		今後、職員集団で検討していきたいです。加えて、職員体制の検討を検討していきたいです。
11 子どもと保護者の状況を把握するための、子どもと保護者のアセスメントツールを使用している	8	1	1		・年長児の就学引継ぎに、TASPを使用している	今年度からの新しい職員は、まだ引継ぎの機会がないため、説明をしています。
12 児童発達支援計画には、児童発達支援スタッフが中心(児童発達支援の担当者)と「発達支援(本人支援及び移行支援)」「療育支援」「情報支援」で発達支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が記載されている	9					
13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9					
14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9					
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9					
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9					
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2	2	・必ずとはいえない ・決まらない時もある		職員の出勤時間にずれがあるため、「日案」としてその日の動きを紙面にし、周知できるようにしています。
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、実行した点を共有している	6	3	3	・勤務時間内に時間を確保することが難しい。個々で話し合いをまとめている状況 ・必ずではない ・時間がとれない、遠慮して参加できない ・勤務時間の都合で、全員参加できていない		全員が揃っての振り返りは困難なため、ノートに記録シートを確認して把握することを依頼しています。
19 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9					
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	2	2	・モニタリングとは客観的に子どもの様子进行分析することである。このようなモニタリングはできていない、している子どもは少ない子ども		利用児童が、適切な時期に見直しができるよう工夫していきます。
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	9					
22 母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9					
23 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9					
24 移行支援として、小学校や特別支援学校(小・中・高)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1	1			今年度からの新しい職員は、まだその機会がないため、中身を知らせていきます。
25 地域の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や相談を行っている	6	3	3			職員全員参加は難しいですが、6月は総合市の児童発達支援センターの研修に、一部の職員が参加させていただきました。
26 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、おたがいの子どもと活動する機会がある	7	2	2		利用児童は、保育園や幼稚園に所属している児童がほとんどのため、日々交流している	
27 (自立支援)発達障害子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	7	2	2			現在は、通園とは別部門の職員が参加しているため、メールで知られて来る議事録を共有する機会があります。
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9					
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	9					
30 運営規程、利用員指等について丁寧な説明を行っている	9					
31 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供(本人支援)のねらい及び支援内容」等と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を併し、その支援内容の提供が、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9					
32 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9					
33 子どもの発達を支援したり、保護者会等を支援する等により、保護者同士の連携を支援している	9					
34 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9					
35 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9					
36 個人情報等の取扱いに十分注意している	9					
37 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9					
38 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている	2	4	3	・今後していきたいと思う		今年度より母そむわ福地会のおまつりが開催されます。児童分野も参加して、地域に活動を知らせていきます。
39 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1	1			マニュアルの、保護者への提供や職員間の周知は行っていないため、ホームページに入れるなどの方法を検討します。
40 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1	1			3か月に1回、避難訓練を行っています。
41 事前に、地震や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握している	8	1	1			
42 食中毒防止マニュアルのある子どもについて、医師の指導書に基づき対応がとれている	9				・食べ場所を離して、その後も他児とは別の場所で行っています ・お菓子の持参をお断りしたり、個別で対応している	
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	1	・定期的とはいえない		ヒヤリハットの事業所内の共有は出来ていないため、その場を話し合っています。
44 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	1			半年に1回は、必ず法人内研修があります。
45 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、事前に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	1			身体拘束についてはここ数年は対象児がいないため、そのためのマニュアルを知らない職員もいます。項目内容の通りの方で取り扱っています。

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年6月28日

アンケート期間:令和6年2月1日~令和6年3月31日

事業所名 児童発達支援センター まーぶるの森 保護者等数(児童数) 45 回収数 37 割合 82 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32			1		面談の際や、独自での見学の機会を設け、スペースを見ていただこうと思います。
2	職員の配置数や専門性は適切であるか	32	1			・専門的でとても参考になりました。	
3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	31			2		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	33					
5	子どもと保護者のニーズや課題が丁寧に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	30	1		2	・とてもしっかりと考えてくださっているように思います。 ・面談で分かりやすく説明があった。	引き続き、お子さまのニーズに関して分かりやすい言葉で説明していけるよう、尽力していきます。
6	児童発達支援計画を作成後、適切な説明がなされているか	32			1	・しっかりと説明していただいています。 ・面談を通して説明いただきました。 ・面談で分かりやすく説明があった。	引き続き、お子さまのニーズに関して分かりやすい言葉で説明していけるよう、尽力していきます。
7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	31	2				
8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	32	1			・連絡帳の様子、活動を見ていると難易度が少しずつ難しくしてくれていることが分かった。	
9	活動プログラムの中身は、分かりやすく説明されているか	31	2			・分かりやすいです。 ・目で見て確認できるようになっています。 ・毎月のお便りで分かりやすく書かれており、メールで写真を下さるので分かりやすいです。 ・連絡帳を通して、面談でも理解できました。 ・面談にて説明いただきました。	
10	重要事項、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	2				
11	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	27	2	1	3	・とても勉強になっています。子どもとの接し方に参考になりました。 ・勉強会や先輩ママの話の聞く会など、貴重な機会を設定していただき、大変助かりました。…① ・相談をメールや連絡帳ですると、その都度丁寧なアドバイスももらえてありがたい。…② ・受けたことがないため	
12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	32	1			・子どもの事をよく理解してくださっています。 ・送迎時に情報共有していただけるので現状況や課題が分かりやすいです。 ・①	
13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	1			・① ・② ・面談でもアドバイスがもらえて分かりやすい	
14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	18	3	1	11	・① ・参加したことがないため ・保護者会等なかったため ・コロナ関係で会自体があまりないので分からない	令和6年度より、各部門保護者会を設けて取り組んでおります。
15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	32	1			・相談事があると、時間を作ってください、しっかり相談にのっていただけました。 ・相談を迅速に対応してください。	
16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	1			・細かく連絡帳が書かれていて分かりやすい。	
17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29	2		2		自己評価の結果は毎年6月にホームページにアップしております。その情報も、お便り等で発信していこうと思います。
18	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	32	1				
19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	27	2		4	・申し訳ありません。あまり把握できていません。	
20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	3		6		
21	子どもは通所を楽しみにしているか	30	3			・いつも楽しみに通っています。子どもにとって楽しい場所となっていて嬉しいです。 ・いつも前日より「明日はまーぶるさんの日！！と楽しく通わせていただいています。 ・楽しみにしていて、とてもありがたかったです。 ・とても楽しみにして通所しています。まだまだ通えると本人は思っています。(年長で卒園のため) ・毎回来楽しみに通所し、その日のあった事も笑顔で話してくれます。 ・「今日はまーぶる？」とよく聞いて、バスが来るのも待ち遠しいです。 ・「行って来ようね、時々帰る事がある」	
22	事業所の支援に満足しているか	33				・子どもに合う活動や支援をしていただき毎回連絡帳をいただけて今のような様子でどのように活動しているか知ることができて感謝しています。 ・いつも色々工夫して頂いてとても感謝しています。 ・満足しています。1つ1つ丁寧に配慮していただき、感謝しています。 ・小学校や放課後等デイサービスへの連携がされており、心強かったです。小学校へ提供する資料では、子どもの特性が見事にまとめられていた。 ・その都度アドバイスももらえる事が嬉しくて、悩みが少なくなる。	